

# プリウスPHV ヴィークルパワーコネクター利用方法

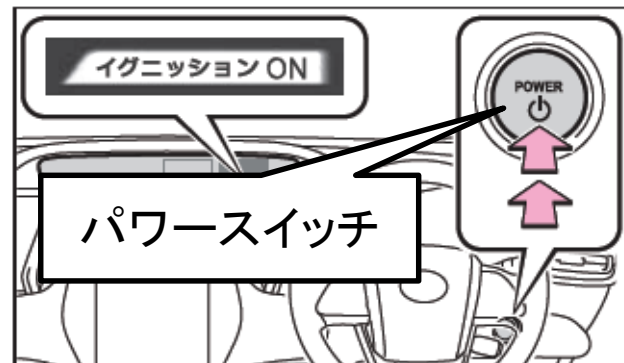
※電源供給前に下記4点をご確認ください


- ・パーキングブレーキがかかっていること
- ・ヘッドランプがOFFになっていること
- ・パワースイッチがOFFでエンジンがかからない状態となっていること
- ・ボンネットが閉まっていること

ヴィークルパワーコネクター

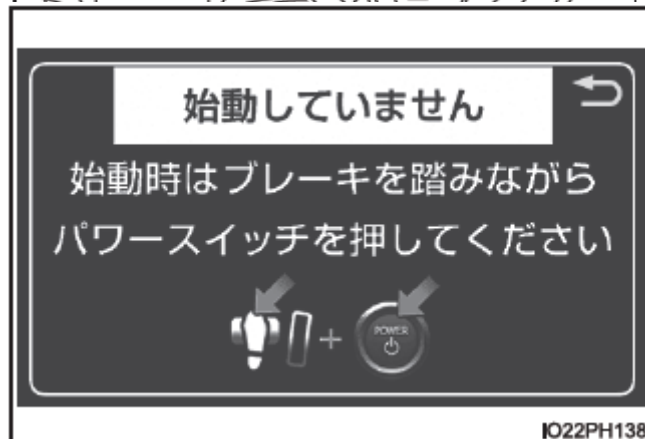


- ①ブレーキを踏まずにパワースイッチを2回押してイグニッションON状態にします。  
(ディスプレイにイグニッションON(右)と表示されることを確認してください)





始動操作に関するアドバイス画面(右下図)が表示された時は、ハンドルに装着されているメータ操作スイッチ(2ページ参照)の  を押して前の画面に戻します。

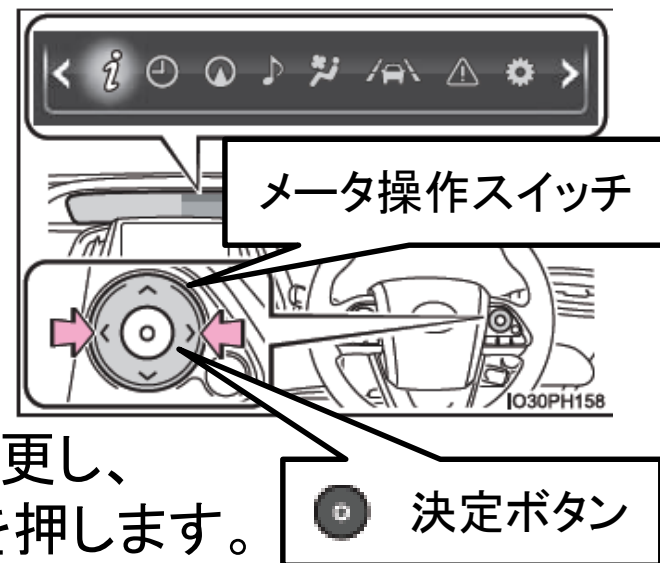
一定時間、メータ操作スイッチを操作しないと、始動操作に関するアドバイス画面が再表示されます。



②ハンドルに装着されているメーター操作スイッチ  
(右図)を使って、ディスプレイの切り替えを行います。


◀・▶ (右図)を押すことで、ディスプレイの表示内容を切り替え  (設定画面)を選択します。

▲/▼ (右図)を押すことで、設定を変更したい項目を変更し、  
 (車両カスタマイズ)を選択し、決定ボタン(右図)を押します。



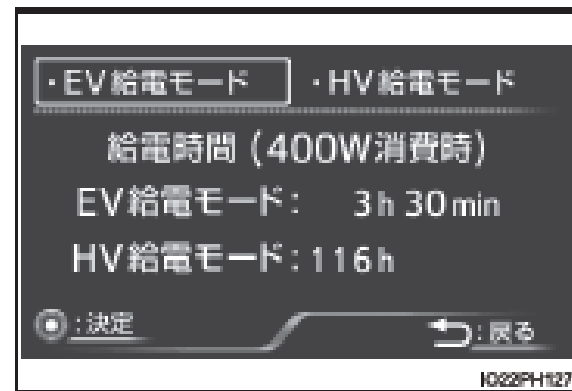
③車両カスタマイズメニューの中の外部電源供給を  
▲/▼ を使って選択して  を押します(右図)。






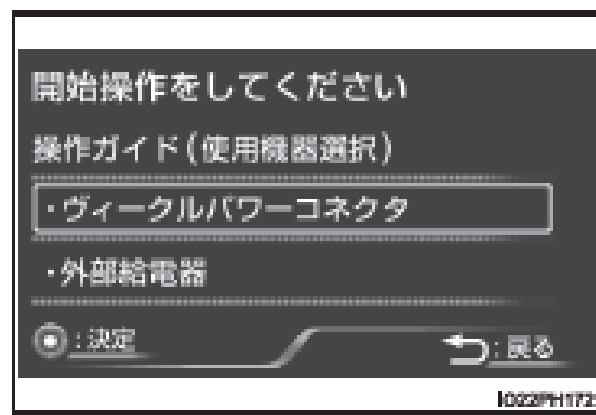
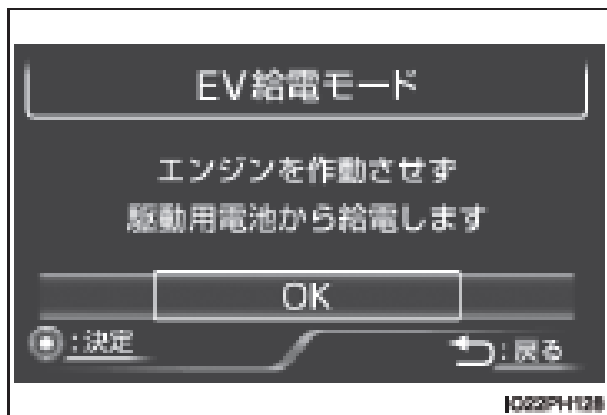
次に ◀・▶ を押して給電モードを選択し、 を押します。

右図はEV給電モードの画面となります。

EV給電モードとHV給電モードについては次ページで違いをご説明します。



- ④ディスプレイに確認画面がでたら「OK」を  を押します。(左下図)。次に  /  を使ってヴィークルパワーコネクタを選択し  を押します。(右下図)。



## ※給電モード

### ■EV給電モード

駆動用電池に蓄えられている電力のみを使用して外部電源給電を行います。電源供給可能な駆動用電池の残量を下回ると給電を終了します。

### ■HV給電モード

外部電源供給中に電源供給可能な駆動用電池の残量を下回ると、エンジンが作動して給電を継続します。燃料残量警告灯が点灯すると、給電を終了します。**エンジンが作動するため換気の良い場所での駐車が必要となります。**

⑤ ヴィークルパワーコネクターのコンセント差込口に  
電化製品のコンセントを差し込んでください



ヴィークルパワーコネクター

電化製品  
コンセント差込口

⑥ PHV充電口の普通充電インレット(下記)に  
ヴィークルパワーコネクターを差し込みます。

プリウスPHVの充電口\_左側が差込口  
(オプション設定により急速充電インレットの無い車両有)



普通充電インレットへ差し込む例



- ⑦ ヴィークルパワーコネクタの上側にある電源スイッチを2回連続で押すと、充電インジケータが点滅からしばらくしたのち点灯に変わります。点灯に変わった後、電化製品の電源をONにしてください。



電源スイッチ

最大消費電力1,500W以下まで給電可能

